

『有川十七日祭り』の概要

お祭りは、^{しゃみせん}三味線、^{たいこ}太鼓、^{かね}鉦、役者の総勢 50 人ほどが、^{やま}一山車を形成し、海童神社を皮切りに各山車が、町内 9 カ所の披露場所を廻ります。これらの山車は横幅 2m、奥行き 1m ほどの小舞台上、披露する寸劇にちなんだ背景画が描かれ、その舞台の前で各山車が趣向を凝らした時代物や現代物のにわか芝居を、10 分程度披露します。このにわか芝居には、必ず最後に「落ち」があり、落ちがでたところで「にわかじゃー」の歓声と共に劇は終了となり、^{はやし}囃子とともに、次の披露場所へと移動します。

この様に、当祭りの最大の特徴は、観客に劇場へ来て頂くのではなく、劇場が観客の所へ移動して芝居を行うという全国的にも珍しいお祭りといえます。

かいどうじんじゃ

【海童神社】（アーチの鳥居はナガス鯨のあごの骨）



（中筋地区）

【外題：貧乏神】

【お囃子（三味線・太鼓・鉦）】



（船津地区）

【外題：国定忠治「赤城山」】

（浜地区）

【外題：島のくすり】



（上有川地区）

【外題：上有川中央病院】



（高崎地区）

【外題：ヤブ蚊の嫁探し】



（西原地区）

【外題：はちとあり】



※ 各地区の外題は毎年変わります。